

# 市議会だより

この度の豪雨により、被災されたみなさまに  
心よりお見舞い申し上げます

No.71



2023年8月1日発行  
発行 仙北市議会  
編集 仙北市議会  
広報編集 広報編集  
特別委員会

- 第3回定例会、議員賛否 P2
- 一般会計補正予算 P3
- 一般質問 P4～10
- 総務文教常任委員会 P11
- 市民福祉常任委員会 P12

- 産業建設常任委員会  
初めての議会を傍聴して  
の感想 P13
- いきいき広場・人事案件  
表彰・編集後記 P14～15
- P16

■400年以上続く伝統芸能「白岩のささら」  
(県有形文化財) 雲巖寺の山門前の演舞)



# — 第3回(6月)定例会 —

9月1日から 下水道・集落排水・簡易排水・浄化槽 基本使用料の値上げ決定！！

**一般会計補正額 2億9,627万7千円を可決 累計208億8,081万4千円に**

令和5年 第3回定例会が6月9日から6月30日まで22日間の会期で開催され、電力・ガス・食料品等の物価高騰に対する支援や80歳の敬老祝い金と消防団の家族慰労金などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算(第3号、第4号)や下水道の使用料を値上げする条例改正案など、報告関係5件、条例関係10件、予算関係6件、その他2件、人事関係1件の計24件が審議され、すべての議案が賛成多数で可決・同意されました。

初日には、市民税均等割非課税世帯に物価高騰に対する支援金を給付する一般会計補正予算(第3号)と医療機器を搭載した車両等の財産の取得を可決し、田沢財産区管理委員選任案に同意しました。

最終日には、追加議案として、市民税課税世帯の子育て世帯に3万円の支給や、市民税課税世帯に物価高騰に対する支援として商品券の配付などを盛り込んだ一般会計補正予算(第5号)と議員提出議案として、教職員の定数改善などを国に求める意見書が提出され、全会一致で可決されました。

## ■ 第3回定例会で可決・同意された議案

- 繰越明許費の報告について (昨年度予算での事業を令和5年度に繰り越した報告)
- 予算繰越の報告について (2件) (昨年度の水道及び下水道事業会計予算を令和5年度に繰り越した報告)
- 継続費繰越額の使用に関する計画の報告について (昨年度の温泉事業会計の継続費繰越額の報告)
- 放棄した債権の報告について (条例の規定により放棄した債権の報告：7件)
- ◇ 令和5年度仙北市一般会計補正予算(第3号) 【初日採決】
- ◇ 財産の取得について 【初日採決】 (西明寺診療所に配備する医療機器を搭載した自動車の購入)
- ◇ 仙北市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 仙北市民バス条例の一部を改正する条例制定について (鑑畑線を田沢のNPO法人が運行)
- ◇ 仙北市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇ 仙北市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例制定について (にしき園の通所リハビリを廃止)
- ◇ 仙北市浄化槽整備事業に関する条例の一部を改正する条例制定について (9/1からの値上げ)
- ◇ 仙北市集落排水施設条例の一部を改正する条例制定について (9/1からの値上げ)
- ◇ 仙北市下水道条例の一部を改正する条例制定について (9/1からの値上げ)
- ◇ 仙北市簡易排水施設条例の一部を改正する条例制定について (9/1からの値上げ)
- ◇ 仙北市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例制定について (社会教育委員の定数改正)
- ◇ 令和5年度仙北市一般会計補正予算(第4号・第5号)
- ◇ 令和5年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第2号) (にしき園の自動洗濯脱水機のリース契約)
- ◇ 令和5年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第1号) (分収林の売却収入)
- ◇ 令和5年度仙北市田沢財産区特別会計補正予算(第1号) (田沢ライスセンターの乾燥機購入費)
- ◇ 令和5年度仙北市下水道事業会計補正予算(第1号) (一般会計の補助金減額)
- ◇ 仙北市過疎地域持続的発展市町村計画の変更について
- ◇ 仙北市田沢財産区管理委員選任につき同意を求めることについて 【初日採決】
- ◆ 議員提出議案 ゆたかな学びの実現及び教職員の定数改善並びに義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

## 議決結果/議員賛否 令和5年 第3回 仙北市議会定例会(招集日:令和5年6月9日 最終日:6月30日)

凡例：賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 (議長は法律で定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	議決月日	議決結果	議員														
				産生会					公明党	共産党	無党派							
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宜	澤田雅亮	中村和彦	小田島広仁	西宮三春
議案第71号	仙北市下水道条例の一部を改正する条例制定について	6/30	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第73号	仙北市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例制定について	6/30	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第78号	令和5年度仙北市下水道事業会計補正予算(第1号)	6/30	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

# 電力・ガス・食料品等 物価高騰に対する支援メニュー多岐にわたる!

## 令和5年度一般会計補正予算(第3号・第4号・第5号)の主な事業

電力・ガス・食料品等物価高騰重点支援給付金	1億1,333万円	市民税均等割非課税世帯に3万円を給付
仙北市子育て世帯応援給付金支給事業費	4,300万円	市民税課税世帯の18歳以下の子どもがいる世帯に3万円支給
仙北市生活応援商品券事業費	6,237万円	物価高騰支援として市民税課税世帯に1万円の商品券を配付
仙北市肥料価格高騰対策支援事業費	2,584万円	仙北市独自で農家の肥料価格増加分の25%を支援(国が70%を支援している)
敬老祝い金支給事業費	166万円	3月定例会で廃止が否決された80歳の祝い金(5,000円×330人)
消防団員家族慰労金支給事業費	158万円	3月定例会で廃止が否決された退職消防団員の家族への慰労金
復田対策推進支援事業費補助金	259万円	復田するための漏水対策、均平対策に必要な機械導入の支援
角館小学校・白岩小学校統合関係事業費	52万円	統合準備委員会を設置し協議していくための経費
秋田内陸線貨物列車等利用促進事業費補助金	403万円	県と北秋田市、仙北市が内陸線の利用促進を支援
下水道事業会計補助金	△1,100万円	下水道料金の値上げにより一般会計からの補助金を減額

## 本会議・予算常任委員会での主な質疑

### ◆各世帯への物価高騰に対する支援金と商品券について

**質問** 3万円の現金での給付と、1万円の商品券の配付があるが、どちらも受給できる世帯もあるのか。

**答弁** 18歳以下の子どもがいる子育て世帯と市民税均等割非課税世帯は、3万円の現金を給付する。それ以外の市民税課税世帯は1万円の商品券を配付するので、どちらも受給できる世帯はない。

### ◆仙北市独自の肥料高騰に対する農家支援について

**質問** 農家支援として、肥料代増加分の70%を国が助成し25%を市が独自で助成するということだが、増加率をいくらで算定したのか。また、対象農家の想定戸数はいくらか。

**答弁** 国が設定した1.4倍で算定しないと国庫補助金が使えない。助成対象農家は1,155戸を想定している。

### ◆秋田内陸線への支援効果はあるのか

**質問** これまでも同様の支援をしてきたが効果が見えない。赤字を2億円以内で良しとしているから、当初予算以外に補正予算で補助金を増額して、毎年赤字が1億9千万円台の決算になることにも不信感がある。

**答弁** 昨年度実施した内陸線のアンケート結果を見ると、仙北市にとっての公共交通の役割は終わっている。今後は、仙北市にとって価値ある路線でなければ、補助金の支出は厳しいという立場で臨む覚悟である。

## 市職員の事務取扱いミス 連続して3件発生する

### ①「寿楽荘」入所者からの利用料金誤徴収が判明

令和4年7月の算定時に計算ミスがあった。多く徴収していたケースが7件で還付済みである。少なく徴収していたケースが10件あったが、さかのぼって徴収できないため、6月分から正しい料金を徴収する。

昨年担当した職員が業務をよく理解しておらない上にチェック体制の不十分さが原因とのこと。

### ②経済支援の利子補給と保証料補給金の事務ミス判明

利子補給と保証料補給金は、債務負担行為の議決後に契約することになっているが、確認を失念しており、計580件4,414万円を計上していなかったことが判明した。令和5年度の利子補給の予算202万円も当初予算に計上していなかった。(本定例会で補正計上した。)

### ③令和4年度 圃場整備事業分担金の請求漏れが判明

令和3年度に実施予定の圃場整備事業の一部が令和4年度に繰り越された。担当職員は農家の分担金については、令和3年度に全額請求して収納済みだと勘違いしていたため、令和4年度に実施された圃場整備事業について、農家94戸の分担金1,020万円を請求していなかった。農家に事情を説明し今年度中に請求する方針とのこと。

※田口市長は、「チェック体制を強化し再発防止に努める。お詫び申し上げる。」と述べた。

## 角館の桜まつり 開催時期の前倒しを検討

一般質問で田口市長は、4/20～5/5の桜まつり期間について、「桜の開花が年々早まってきている。5日程度の前倒しは必要。」と答弁した。





議員 幸 晃 脇 門 生 会 蒼

部活動の地域移行をどうするのか

市長 市役所を挙げて地域移行にしっかりと取り組む

中学校部活動の地域移行の進め方は

**質問** 現在、本市の部活動地域移行の実績とその内容について伺う。

**答弁**（教育長） 学校部活動の地域移行は、地域の子供たちは学校を含めた地域で育てるという意識のもと、生徒の望ましい成長を保障できるように、令和5年1月に、教育委員会と観光文化スポーツ部と協議し、お互いの情報を共有した。今年度は、仙北市部活動地域移行準備委員会を5月に開催し、6月28日には第1回仙北市部活動地域移行検討委員会を開催した。

今後は、部活動移行の受け皿となる団体、指導者、場所など様々な課題について協議していく予定である。また、令和5年度から夏の総合体育大会で地域移行された地域クラブの参加が認められているが、本市において地域クラブの参加はなかった。

**質問** 現在の中学校



■どうなる?! 今後の中学校の部活動

学習指導要領では、部活動は学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるように留意するとしているが、地域移行はこの方針に逆行するのではないか。整合性について見解を伺う。

**答弁**（教育長） 教育課程外での部活動と教育課程で行われる活動との関連を図る中で、その教育効果が発揮されることが重要であるとされている。中学生の時期に生徒自身の興味、関心に応じてスポーツや文化、科学などに親しむことは、学

習意欲の向上や責任感、連帯感の肝要など、学校教育が目指す資質能力の育成に資するものであると考えている。部活動が地域移行された場合でも、生徒が多様な学びや経験をする場や、自らの興味関心を深く追求する機会の充実につながるなど、教育課程との関連が図られている。

**質問** 部活動の地域移行が進むと、合同チーム等が解消されそうだが、学校の適正化配置との関連性をどのように捉えているか伺う。

**答弁**（教育長） 学校適正配置の取り組みでは、スポーツ、文化活動等においても多様な選択が出来るよう、一定の集団を確保できる規模を目指しており、生徒が希望する部活動で一生懸命取り組める環境を作るという方向性は同じである。部活動の地域移行は、学校適正化配置の推進状況を踏まえながら、生徒にとって充実した部活動環境になる事を目指していきたい。

教員の働き方改革について

**質問** 令和4年度の仙北市の教員の1か月当たりの残業時間はどれくらいか。また、仙

北市で独自の働き方改革の取り組み事例があれば伺いたい。

**答弁**（教育長） 残業時間は、一人当たり月平均35時間であり、前年より2時間減っているが、上限とされている月45時間超えは、中学校で約69%、小学校で約59%もあり、今後の対策を学校と協議する。独自の取り組みは、特別支援教育支援員33名の派遣事業。複式学級指導支援員3名の派遣事業。中学校部活動指導員6名の配置事業。スクールカウンセラー配置活用事業などである。

**質問** 部活動の地域移行による残業時間の改善効果について伺う。

**答弁**（教育長） 学校における部活動の休養日と活動時間の基準により算定すると、部活動担当者一人月当たり12時間から15時間の削減が見込まれる。

**答弁** 教員の働き方改革については、必要性を十分感じており、しっかりと取り組んでいきたい。

（中村和彦記）

# 女性のこころとからだのサポート強化を！

西宮三春 議員



## 市長 他自治体の事例も参考に女性サポートを強化したい

※ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症ワクチンについて

**質問** 本市におけるHPVワクチン接種対象者への情報提供方法と接種状況について伺う。

**答弁** ワクチン接種対象となっていて方には、定期接種、キャッチアップ接種、双方について令和4年度に個別に通知をしている。推移状況は令和4年度中の接種完了者は552人中42人、キャッチアップ接種では676人中44人が接種完了している。

**質問** 9種類のHPVの感染を予防できる9価ワクチンが今年度から接種を希望できるが、周知方法について伺う。

**答弁** 市の広報やホームページにて情報発信をするとともに、定期接種対象者には9価ワクチンのリーフレットを配布しており、各中学校を通じて周知を図り、高校1年相当の年

に、定期接種対象者には9価ワクチンのリーフレットを配布してあり、各中学校を通じて周知を図り、高校1年相当の年



■仙北市での健診の種類・料金等が掲載の健診ガイド

齢で接種しない方には個別リーフレットを送付している。

**質問** 男性にもHPVワクチン接種が推奨されているが、仙北市は接種を進める考えはあるのか。

**答弁** 現状では男性への助成は考えていないが、今後、国の方針により適宜検討していく。

**女性のこころとからだをサポートする仙北市を目指して。**

**質問** 乳がん及び子宮頸がんの検診率はどれほどか。

**答弁** 令和4年度の対象者が乳がん検診は、5,032人に対して437人で8.68%。子宮頸がん検診は、6,524人に対して370人で5.67%である。

**質問** 仙北市男女共同参画計画で令和8年度の乳がん、子宮頸がん検診率の目標を30%としているが、達成のための取り組みを伺う。

**答弁** 最近ではコロナ禍で検診率が低いですが、今後積極的に情報発信をするとともに、他の自治体の先進事例など情報収集に努め、がん検診率向上に向けた取り組みを進めていく。

**質問** 無痛MRI乳がん検診の開始時期はいつか。また、予約方法、周知方法及び助成は検討されているのか伺う。

**答弁** 7月中には開始する予定である。予約方法は角館総合病院への電話や、MRI検診の読影先であるドウイブス・サーチ社のホームページからの予約も可能である。周知方法は広報やホームページ、LINEサービスなどである。助成については、導入したばかりで現在は考えていないが、受診状況に応じて検討していく。

**質問** にかほ市が行っている女性のこころとからだをサポートする事業のような、不妊治療だけではなく、女性特有の症状で悩んでいる方へのケアを行う取り組みを取り入れることはできないか。

**答弁** 今後は、医療DX推進事業等を通じて、更に女性が健康相談しやすい環境を整備するとともに、他の自治体の事例も参考に、女性が安心して活躍できる社会を実現したい。

**質問** 産前・産後の家事支援の現状と来年度以降の支援体制について伺う。

**答弁** 令和4年度は3人から申し込みがあり1人が利用した。来年度以降は、利用者数が少ない現状を分析し、実態に見合ったサービスを心がけていく。

**安心して子育てができる環境を**

**質問** 乳児・幼児の子を持つ保護者への救命講習実施の現状を伺う。また、乳児健診時に救命講習を導入できないか伺う。

**答弁** 乳児・幼児の保護者の救命講習は、コロナ禍により年に1回のみ開催だったが、今後は半年に1度、年2回開催していく。また、乳児健診時の講習については、参加者へのアンケートなどを通じてニーズを把握しながら検討していく。

用語解説

・ヒトパピローマウイルス(HPV)とは…性感染症や皮膚病の原因となるウイルス。性交渉によって性器やその周辺に感染する。これを原因とする病気として、子宮頸がん、膣がん、肛門がん、陰茎がんなどがある。

インタビューが聞きたい

7人の提言

(澤田雅亮記)





小田島 広仁 議員

# ※ インターナショナルスクールを誘致する地域はどこか

## 市長 これから市内全域の遊休地を調査する

### インターナショナルスクール誘致事業について

**質問** 学校を誘致するために①誘致PR事業②遊休施設等調査事業③MaaS事業の3つの事業を委託して、3年間かけて誘致を実現することだが、委託先と事業費及び事業の概要について伺う。また、学校を誘致する地域は決まっているのか。

**答弁** ①(株)ジャパンナビ。委託費2千万円。誘致の宣伝企画と視察ツアーの実施等。②(株)北都銀行。委託費1,500万円。市内の遊休施設や土地等を調査しリストアップする。③JR東日本。委託費2,200万円。交通インフラ整備とデジタルサービスを組み合わせた新たな交通サービスを構築する。誘致場所は、今後、市内全域を対象に調査し候補地を決めたい。

### ふるさと納税について

**質問** 令和4年度の納税額と人気の返礼品を伺う。また、昨年の12月からスタートした旅先納税の状況について伺う。

**答弁** 過去最高の18億5千万

円超で県内1位だった。人気の返礼品は、米、パックライス、めん類の順である。旅先納税は、まだ認知度が低く、13件で62万円の実績だった。

**質問** 今年度は20億円を目指すとしているが、新たな企画を伺う。

**答弁** 新たなポータルサイトの追加、中間業者の一本化、総務省のアドバイザー制度を活用する。また、昨年スタートした旅先納税を強化する。

### 第36回田沢湖マラソンについて

**質問** 昨年度620万円もの赤字となった田沢湖マラソンの募集が始まったが、赤字改善と現在の申し込み状況を伺う。

**答弁** 参加料の値上げ、コロナ抗原検査キットの廃止、ゲストランナー招待と前夜祭の見合わせ、一部業務を民間に委託するなど収支改善を図る。6月15日現在で、1,044件の応募があり、昨年同時期より500件程少ない状況である。

### 旧田沢湖町郷土史料館跡地の緑地管理について

**質問** 令和2年度に市が管理することを条件に、田沢財産区が300万円繰出して緑地化した。現在、ロープが張られ草は伸び放題、芝生は生え揃わず土の部分が多く、田沢財産区の管理委員からも苦情が出ている。今後の管理と活用方について伺う。

**答弁** 観光課が維持管理し、年2〜3回の草刈りを行っている。芝生は徐々に広がっているが、雑草の生育も著しいため、草刈り等の時期や回数等を再検討する。ロープは外して自由に遊べる場所として開放したい。



管理が維持できず、雑草の勢いが強い郷土史料館跡地の緑地

### 冬期間閉鎖の公衆トイレについて

**質問** 今年は花の開花が早

く、観光のお客様の動きも早かったが、田沢湖地域で冬期間閉鎖している公衆トイレが開いておらず苦情があったと聞いている。雪が解けたら使用可能にできないのか。

**答弁** 冬期間閉鎖は11月下旬から4月下旬としている。雪解けの状況に合わせて使用開始できる体制について、清掃委託先と協議し検討したい。

### アルパこまくさの営業時間延長について

**質問** 昨年度から市直営となったアルパこまくさの営業時間見直しは、一年前の一般質問でも取り上げられ、市長は従業員を増やし営業時間を延ばすと答弁されたが、現在も15時30分での受付終了が変わっていない。営業時間延長はできないのか。

**答弁** 令和5年度の当初予算編成時に、従業員の確保が困難なことから財政難の両面から営業時間延長を断念したが、登山者の利用が見込まれる6月から8月の営業時間延長について検討している。

(高橋輝彦記)

### 用語解説

・インターナショナルスクールとは…日本に在住する外国籍の子どものための教育施設。最近では日本の子どもも入学できるスクールが増えている。  
 ・MaaS事業とは…Mobility as a serviceの略で、スマホアプリで住民や旅行者に公共交通や複数の交通機関を最適に組み合わせて検索・予約ができる移動サービス事業。

# 桜まつり開催期間を桜の開花時期に合わせて変更できないか

中村和彦 議員



## 市長 来年度以降、開催期間を再考したい

### 桜まつりの現状と桜の未来について

**質問** 今年は、桜の開花が異常に早かった。近年早くなってきた。桜まつり開催期間についての考えを伺う。

**答弁** 桜の開花、満開の時期は最も早く、枝垂れ桜は、4月5日開花・9日満開、ソメイヨシノは8日に開花・12日に満開を迎えた。従来の開催期間（4月20日から5月5日）では、最盛期の桜を観光客の方々に楽しんでいただくタイミングとは言いにくくなっている。角館の観光行事実行委員会にて、来年度以降の開催期間を再考したい。

**質問** プレオープン前に満開となり、出店者は15日からの営業で、売り上げに影響があった。今後の出店者の対応を伺う。

**答弁** 「桜の開花にあわせて営業開始日を弾力的に考えてほしい。」「桜並木駐車場からの動線上出店している箇所が見えづらい。」などの声がある。角館の観光行事実行委員会と出店者組合と十分な話し合いを重ねていきたい。

**質問** 落合地区は、隠れた桜

の名所となりうる。魅力発信を強化・推進してはどうか。

**答弁** 落合地区の桜は、樹齢も若く生き生きとした花を咲かせている。武家屋敷通りから離れていることもあり観光客は多くない。イベント開催できないか、実行委員会等で検討する。

**質問** 国指定以外の桜の管理について伺う。

**答弁**（観光課長） 角館の桜まつり期間以降も長く仙北市内の桜を楽しんでもらえるように、桜まちづくり係として、国指定以外の桜についても枝切り、施肥、草刈りなどを順番に実施している。

**質問** 樹齢90年になる松木内川堤の桜の今後が心配である。具体的な対策を伺う。

**答弁** 伐採や植え替えに頼ることなく、生育環境を改善し治療することで樹勢を回復させることを基本方針としている。

**質問** 武家屋敷通りの枝垂れ桜は、伝承館辺りに集中している。間伐によって日当たりを良くして、新たに桜の木を植えられないか。また、所有者負担となる枝切りにかかる経費の補助はあるのか。

**答弁** 角館の枝垂れ桜162

本の内、約80本が伝建地区内にある。武家屋敷の風格は、武家住宅と庭に配された樹木が一体的に保存されていることがあげられる。一本一本に所有者がおり、管理をしている。補助金はない。

### 落合地区の玉川河川敷について

**質問** 公園のように見えるが機能していない。管理は誰が行っているか。

**答弁** 玉川河川敷は、県が整備したのち、旧角館町と管理協定を結び、市が管理している。年2回の草刈りを業者にて委託している。見回りをしながら、草が伸びた際には回数を増やしたい。

**質問** 設置されている水路に、水が流れていたら、子どもたちの大好きな水遊び場になると思うが、見解を伺う。

**答弁** 整備当初から水は流れていない。この場所に清潔な水を流すことは難しい。取水する考えはない。



■次期桜まつりには、きれいな欄干を

### 横町橋の修繕工事について

**質問** 欄干が見るも無残な状態ある。安全性、美観を考えると早期に修繕が必要である。橋の架け替えを考えているのか。見解を伺う。

**答弁** 欄干は、桜並木の美観を際立たせるので、劣化が激しい箇所は今年度修繕をする。着工時期については明言できないが、いずれは橋全体の補修工事を予定している。

（平岡裕子記）





澤田 雅亮 議員

仙北市に病児保育が必要ではないか

市長

病後児保育より病児保育の希望が多ければ  
双方の事業を検討したい

市職員の働き方改革  
について

**質問** 仙北市役所は残業時間が長く、残業代による資金流出が多く発生している。田

口市政以前の平成21年から令和3年までの平均で、年間3万4,647時間、8,400万円ほどの残業代が毎年計上されている。財政状況が悪化している中で、市政改善の最初は、働き方改革にあるのではないのか。仙北市の働き方を改善する具体的な取り組みを伺う。また、既に発表されている仙北市特定事業主行動計画は機能しているのか。

**回答** 人も減らさず、仕事も減らさず業務時間の短縮を行うには効率化が必要で、精神的な手法ではなく、仕事の方法の見直し、そして職員の能力向上を併せて行う必要があると考える。現在、人事配置と人件費の適正化を目的とした業務量調査を実施している。残業



DX推進による生産性向上と業務時間短縮を目指す仙北市役所

の1割削減を目標としており、令和3年、4年の期間外総額、平均8,618万9,000円を令和6年度までの2年間で1割削減し、7,757万円を目標にしている。

仙北市特定事業主行動計画については、現在、月曜日の定時退庁を強く勧め、執務室等の消灯時間を設定するなど取り組みを進めている。また、DXの推進による生産性の向上と業務時間の短縮を目指してしていく。

厳しい時代の中、自治体の総合力を上げるため、職員研

修の実施、県庁や民間企業への派遣を行うなど、職員の育成が地方行政の底上げにつながり、そして人づくりこそが本市のまちづくりであるものと考えている。

こども園・保育園におけるごはん持参について

**質問** こども園・保育園の3

歳児からのごはん持参ルールを解消し、市がごはんも提供するべきではないか。

**回答** 市内には、公立保育園3園のほかに、社会福祉法人はなさき仙北運営の私立認定こども園5園があるため、法人との協議も必要だが、子どもの数がどんどん減っていく中で、子育て支援等の姿勢を示す意味でもごはん提供の検討が必要であると考えている。

病児保育の必要性和今後の具体的な動きについて

**質問** これまでも病児保育の

必要性を訴えてきたが、市長は、病後児保育から始めるとの意向だった。しかし、現在も病後児保育の動きが不明であり、やはり病児保育から始

めるべきではないか。また、病児保育については、市立角館総合病院と直近で協議したことがあるのか。

**回答** 病後児保育については以前より実施に向けて検討しており、市立角館総合病院に病後児保育の協力を相談したのは、直近では5年ほど前であり、敷地内への設置は難しいことから、市の中心部である神代地区への設置を検討していたが、令和3年に市立角館総合病院へ小児科医が着任されたことから、近隣への設置を模索している段階である。近年は、出生者の6割近くが角館地区に集中する傾向にあることから、角館地区への設置を検討している。

病後児保育よりも病児保育を希望する保護者が多いとすれば、病児保育も含めた事業について検討していきたい。また、病児保育実施場所としては、病院、診療所、保育所等に敷設された専用スペースまたは専用施設となることから、設置場所についても今後検討を進めたいと考えている。

(真崎 寿浩 記)



# 仙北市独自の少子化対策が必要ではないか



蒼生会 高橋輝彦 議員

市長

## 育児支援金の効果を検証し さらなる少子化対策を検討する

### 次元の異なる少子化 対策について

**質問** 昨年度の出生数が70人の仙北市は少子化対策が最重要課題である。国は子ども家庭庁を新設したが、市の組織に変更はないのか。また、国は次元の異なる少子化対策の柱として児童手当の拡充を掲げているが、市としても独自の対策を打ち出すべきではないか。

**答弁** 子ども家庭庁の新設効果はまだ感じられないが、仙北市は、妊産婦から子育てまで子どもに関する一体的な相談支援の充実を目指し、令和6年度に「子ども家庭センター」の設置を予定している。市の独自の取り組みとしては、今年度から所得制限なしで1歳、2歳児全員に年間1万5千円の育児支援金を支給している。この継続的な経済支援事業の効果を検証した上で、さらなる市独自の少子化対策を検討したい。

**質問** 加速する少子化の大きな要因として未婚の増加がある。独身男女の出会いや交流の場の創出について、市が本気で取り組むべきではないか。

**答弁** 従来の行政主体の出会い系のイベントではなく、例えば、地域おこし協力隊が市民と協働で音楽イベントやアウトドア体験等を開催し、市が陰で支える開催方法などが有効ではないかと考えている。

### マイナンバーカード を安心して活用できるように

**質問** マイナンバーカード取得後の相談窓口はあるのか。また、登録情報を本人が確認する方法を周知しているのか。

**答弁** 市民生活課、市民センターで相談を受けているが、現時点でトラブルの問い合わせ



「子ども家庭センター」が設置予定の保健課と子育て推進課の窓口

せはない。登録情報を確認する方法については、パンフレットなどを配布している。

**質問** 自分や家族の登録情報は、スマホのマイナポータルというアプリで確認できるので市民に案内してはどうか。すでに7割もの市民がマイナンバーカードを取得しているのでフォローもしっかりお願いしたい。

**答弁** 市民生活課、市民センターで対応したい。

### 仙北市での水素生成 による新たな産業の 創出について

**質問** 東北大学の実証実験により、仙北市地域新エネルギービジョンに掲げられた、玉川温泉水を活用した水素生成による新たな産業の創出について、コロナも落ち着き、あらためて産学官連携して本格的に取り組み考えはないか。

**答弁** (副市長) 現在も東北大学が、玉川温泉水を活用した水素生成及び貯蔵実験を継続している。しかし、水素を生成するためのアルミニウムがウクライナ危機により入手困難な状況にある。世界情勢が

好転し、廃アルミニウムが安価で大量に入手できれば、将来的に仙北市での地産地活の次世代エネルギー産業の可能性を期待している。また、水素からアンモニウムを作る産業の可能性も期待している。

### 落合野球場で天皇杯軟 式野球大会の開催を

**質問** 軟式野球最高峰の天皇杯の開催会場として落合野球場も候補地となっており、主に選手の安全面を考慮した球場環境整備を整えていただきたいが、市長の意向を伺う。

**答弁** 天皇杯を開催するための環境整備の経費を把握したうえで最終判断したい。

**質問** 熱中症から子どもたちの命を守る電光掲示板の設置は、半導体が入手できず天皇杯には間に合わないが、今後、これまでに要望してきた大規模改修を実施するべきではないか。

**答弁** 落合球場の電光掲示板を含めた大規模改修については、限られた財源の中でも安全対策、優先順位を考え検討する。

(西宮三春記)



蒼生会 武藤 義彦 議員

地元の魅力的な職場を認識してもらうには、幼少期からの体験が効果的ではないか

教育長

※ 「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」で動いていく

仙北市の就職、雇用の現状について

**質問** コロナ前から最近の市内の求人状況はどのようなになっているのか、また、新卒者の市内就職者は増加傾向にあるのか伺う。

**答弁** コロナにより最も影響を受けている業種は、宿泊業や飲食店等のサービス業であり、営業時間の短縮や休業により離職者が増加し、新規求職者の減により求人倍率が増加している。

新卒者の市内企業への就職状況については、令和3年度に就職率が増加したものの、令和4年度はコロナ前と概ね同様の就職率となっており、減少傾向となっている。令和3年度は卒業生数が185名、仙北市内企業就職者数が27名、全体の14.6%であり、令和4年度は卒業生数が167名、仙北市内企業就職者数が15名、全体の9%という状況である。

**質問** 地元にも魅力的な職場があるということを確認してもらったためには、幼少期から体験させることが効果的だと感じている。当初予算にヤマメ・サクラマスプロジェクト

事業費が計上されているが、具体的な取り組み内容を伺う。

**答弁** (教育長) 今まで中学生以上で実施してきた職場体験を小学校高学年を対象に実施する。また、企業の魅力をよりはつきりと感じてもらうよう、職場体験実施後に企業の魅力を伝えるポスターを子ども自身で作成させる計画である。これは昨年度の子ども議会での提案を事業化したものである。また、市内の中学2年生を対象とした企業説明会を11月に計画しており、毎年開催していく予定である。

マイナンバーカードについて

**質問** カード取得者の年代別内訳を伺う。また、誤登録などの内容は市で確認できるのか伺う。

**答弁** 各自治体における取得情報は、国の方針により非公表とされている。窓口での交付状況を見ると交付率が低い傾向にあるのが、10歳未満、30歳代、40歳代、80歳以上であり、交付率が高い傾向なのが、20歳代と70歳代である。近隣市町村や全国でも同様の傾向である。また、自治体で

は、個人の登録状況は一斉確認できない。

**質問** 市は、カードを持たない市民に対しても的確な情報を提供する説明責任がある。特に今後の健康保険証の取り扱いについて伺う。

**答弁** カードを持たない方の様々な相談や苦情の対応については、市民生活課、各市民センターで対応する。来年秋に予定の健康保険証との一体化に関しても、常に国の動きを注視し、最新の情報を提供しカードが無くても支障のないように対応していく。

アルパこまくさについて

**質問** 昨年の6月定例会において、今年度までの収支等を分析し、令和6年度から民間

事業者への運営を考えているとのことであったが、現状ではどうなっているか、また、市長の考えには、休止、休館という選択肢はあるのか伺う。

**答弁** この1年間で経費算定の目途をつけるのは難しいことと、施設の老朽化が著しく、安全な運営には施設の大規模修繕が必要であり、令和6年度からの運営委託は、現時点では見送っている。

今後は、修繕の予算等を検討し、できれば露天風呂に入りながら田沢湖を眼下に見下ろす唯一無二の景観を有する温泉施設なので、何とか存続していきたいと考えている。

(小田島広仁記)



■存続を模索する景観が人気のアルパこまくさ

用語解説

・ヤマメ・サクラマスプロジェクトとは…ヤマメは海に出てサクラマスとして生まれた場所に戻ってくることから、子どもたちもそうなることを期待しての取り組み。



# 総務文教常任委員会

## 田沢地区の路線バス廃止に伴い、 地元NPO法人が市民バスを運行！

6月定例会の総務文教常任委員会では、議案として、仙北市民バス条例の一部を改正する条例制定などについて審査されました。予算委員会分科会として、補正予算関連では消防団員家族慰労金支給事業費、危険空き家対策費、角館小学校・白岩小学校統合関係事業費などについて議論されました。

### 令和5年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

#### 【補正予算 第4号】

普通財産等管理費	123万円	旧上桧木内小学校等の修繕費
消防団員家族慰労金支給事業費	158万円	3月定例会で廃止条例が否決となり、今回予算計上
危険空き家対策費	187万円	空き家に関する現場確認や台帳整理を行うための会計年度職員1名雇用

#### 【教育委員会関係】

角館小学校・白岩小学校統合関係事業費	52万円	統合準備委員会設置の経費
中央公民館管理運営費	295万円	会計年度職員1名雇用

### ここが知りたい 議論のポイント

総務文教常任委員会での主な質疑

#### 仙北市民バス条例の一部を改正する条例制定について

**質問** 田沢地区の生活バス路線（鎧畑線）について、地元NPO法人に委託して運行できるようにするための条例改正であるが、利用者数の見込みは、また、乗車場所はどのようになるのか。

**答弁** 1ヶ月あたり延べ180人の利用を見込んでいる。乗降場所については、現在のバス路線上の停留所をベースに設けるが、田沢地区に関しては特定の停留所ではなく利用者の家まで出向く事も可能としたい。利用にあたっては、予約が必要となる。

#### 補正予算（第4号）関連

**質問** 消防団員家族慰労金支給事業費は、何人分を予定しているのか。

**答弁** 23名分を計上している。

**質問** 危険空き家対策費について、空き家の所有者等は完全に把握しているのか。国でも強力に対策を練っていく動きだが、今後の空き家対策はどのように進めていくのか。

**答弁** 空き家の所有者は把握している。台帳上は400件程となっている。まちづくり課では、総合的に対応したいということで今の台帳をブラッシュアップしたいと考えている。総合防災課で空き家対策計画を作成している途中であるが、その計画を受けて国の方針を盛り込みながら対応する。個々の事情も踏まえながらしっかりと対応していきたいと考えている。

**質問** 角館小学校と白岩小学校の統合目標年次はいつなのか。統合後の空き校舎の活用についてその方向性は。

**答弁** 統合時期は、統合準備委員会の中で議論していただき意見を踏まえ決めていきたい。空き校舎の活用については、最初から市当局も加わり、市全体のまちづくりの中でしっかりと検討していく事としている。



■廃止となる羽後交通「鎧畑線」新たな市民バスが運行

# 市民福祉常任委員会

## 令和6年度から「子ども家庭センター」がスタート ～より深い子育て支援が～

6月定例会の市民福祉常任委員会では、敬老祝い金や子育て世帯応援給付金などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算及びにしき園の特別会計補正予算、にしき園の通所リハビリテーションの廃止案などが審査されました。

### 令和5年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

敬老祝い金支給事業費	166万円	3月定例会で廃止が否決された80歳の祝い金(5,000円支給)
障害者支援施設等物価高騰対策事業費	130万円	障害者支援施設等の光熱費を助成
介護保険施設等物価高騰対策事業費	1,216万円	介護保険施設等の光熱費を助成
保育所等光熱費価格高騰対策事業費	213万円	はなさき仙北が運営する5つのこども園の光熱費を助成
母子生活支援施設等入所措置費負担金	322万円	施設への入所月数と入所児童数増加のための増額費用
市民浴場管理運営費	63万円	市民浴場東風の湯の排水管の調査及び修繕に係る費用

### ここが知りたい 議論のポイント

市民福祉常任委員会での主な質疑

#### 障害者施設・介護施設・こども園への光熱費の助成とは

**質問** 光熱費を助成することだが助成の内容を伺う。

**答弁** 障害者施設・介護施設は定員数、こども園は入園者数に県が設定した単価を乗じた助成額を、県と市が1/2ずつ負担する。

#### 母子生活支援施設等入所措置費負担金の増額補正について

**質問** 当初予算措置されていたが増額補正とは、母子家庭が想定以上に増加しているのか。

**答弁** 想定していなかった緊急避難が必要な母子の入所があったことに伴う補正である。施設に入所している人数割で経費が算定されるため金額は変動する。

#### 市民浴場東風の湯の運営状況について

**質問** 今回の補正は、排湯管の流れが悪い原因の調査と修繕費用とのことだが、現在の従業員は足りているのか、利用者に十分な対応は取れているのか伺う。

**答弁** 東風の湯を運営しているおもてなしせんぼくと適宜連絡を取っている。最近是人材の不足等の連絡もなく適正に運営されているものと思っている。

#### にしき園の通所リハビリ廃止についての質疑

**質問** 通所リハビリを再開する可能性はあるのか。

**答弁** 今後の通所リハビリのニーズがどれだけあるのか、再開した場合の介護職員及び送迎の運転員の人員費などの、採算面を精査するなどして進めていくことになる。

#### にしき園の自動洗濯脱水機のリースについての質疑

**質問** リース料が208万5千円とのことだが、購入したほうが経済的ではないのか。

**答弁** 5年間のリースで、この期間は保守・修理が無料でリース終了後はにしき園のものになることからリースでの予算にさせていただいた。

#### 令和6年度に「こども家庭センター」設置

**質問** 一般質問で「令和6年度にこども家庭センターを設置する。」との答弁があったが、妊娠から子育てまで、すべてワンストップ窓口で対応できるのか。また、どのようなこども家庭センターにしようとしているのか、現時点でのイメージがあれば伺いたい。

**答弁** 現在、妊娠から母子保健の部分を保健課、生まれてから18歳までを子育て推進課が担当している。現在、実務上で検討しているのは、現在の課はそのままで、統括するセンター長を置く形を考えており、より深い子育て支援ができるように考えている。



# 産業建設常任委員会

## 秋田県経営安定資金貸付金利子補給金

### 当初予算に計上漏れ

6月定例会の産業建設常任委員会では、令和5年度一般会計補正予算などについて審査しました。農業振興費、商工業振興費、観光費、下水道事業会計補助金等が案件です。

#### 令和5年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

田沢ライスセンター利用組合乾燥調製設備更新事業費補助金	299万円	乾燥機2基更新用で、補助対象事業費598万4千円の2分の1以内の補助金
復田対策推進支援事業費補助金	259万円	転作作物から水稲へ復田する際の機械導入の補助金
企業誘致対策事業費	33万円	出向職員1名分の旅費
秋田県経営安定資金貸付金利子補給金	202万円	本年度から開始の補給金の計上漏れによる補正
一般観光総務費	202万円	会計年度任用職員1名増員分の報酬
下水道事業会計補助金	△1,100万円	使用料改訂により営業収益の増額が見込まれる為の減額
市民体育館管理運営費	29万円	神代市民体育館の一部床板張替経費

### ここが知りたい 議論のポイント

産業建設常任委員会での主な質疑

#### 田沢ライスセンター利用組合乾燥調製設備更新事業費追加補正について

【説明】乾燥機2基更新用で補助対象事業費は、59万4千円の2分の1以内の補助金である。

【質問】設備の配置状況はどのようになっていくのか。補助金の財源がなぜ田沢財産区繰入金なのか。取り扱い面積はいくらか。

【答弁】田沢ライスセンターには、40a乾燥機5基、30a乾燥機1基、もみ摺り機1基があり、令和元年度にもみ摺り機1基、40a乾燥機2基を更新しており残る3基のうち老朽化している2基を更新する。田沢ライスセンターで取り扱っている令和4年度の実績面積は、約18haほどで、国、県の補助対象の要件に合わず田沢財産区の基金繰り入れをお願いした。

#### 復田対策推進支援事業費補助金の追加補正について

【説明】水田活用支払い交付金の要件が、令和4年度に見直され、今後5年間に一度も水張りが行われないう農地が交付対象外水田となり、転作作物から水稲へ転換する際に課題となる漏水や均平化に必要な機械導入を支援するものである。補助対象事業費は778万8千円で、その内、県が3分の1以内を補助するものであるとの説明があった。

【質問】対象となる要件は何か。補助対象となる機械は何か。米余りが目立ち、水稲以外の作付けを進めているにも関わらず、稲作りを促しているような事業ととらえるが実態はどうか。

【答弁】水稲と転作作付けでの合計面積が概ね30ha以上の法人・個人が対象で、稲作を推進するということではなく、田んぼの状態に戻すという目的であり、補助対象となる機械は、大豆やネギ栽培によりできた畝の高低差を均平にするレーザレベラーという機械、塊になった土を細かくするパーチカルハローという機械が対象となる。水張りの状態を一度確認し、その後1か月その状態が続いていると認められる。

要件を満たす見込みのある経営体数は、6法人、2個人の計8件である。

#### 秋田県経営安定資金貸付金利子補給金の追加補正について

【説明】本年度から開始される補給金について、計上漏れがあり補正をお願いするものである。この利子補給金について、債務負担行為の議決がないことや、金融機関との契約の不備や議決年度に契約が行われず効力を失った。債務負担行為補正額は、翌年度以降の所要額2,812万3千円について新たに議決をお願いするものであります。更に、秋田県信用保証協会保証料補給に関しても債務負担行為の議決がなかった。翌年度以降の所要額1,602万3千円についても、議決をお願いするものである。

【質問】このことは、いつわかったのか。

【答弁】令和5年度予算査定終了後、説明資料を作成する際に判明した。

【委員】淡々と説明はあるが、議決を得なければならぬ事実を、事務の漏れで、していなかったことにもっと重みを感じるべきでないかとの厳しい意見があった。

# 仙北市新規採用職員(6名)の初めて議会を傍聴しての感想

6月定例会では市役所研修の一環として、新規採用職員の方々が議会を傍聴しました。  
傍聴者の中から、6名の職員の感想をご紹介します。

## 市民福祉部 子育て推進課 主事 鈴木 さら

市議会定例会を傍聴する機会はなかったので、良い経験になりました。  
市議会定例会は画面越しでしか見たことがなかったので、実際に議場へ行って傍聴するのと、画面越しでみるのとは、雰囲気を感じ方が違いました。議員さんには男性がほとんどですが、女性の議員さんもいて、同じ女性目線の質問や要望、また女性だからこそ話しやすいこともあるので、こういった場でも女性の存在意義は大きいと思いました。

私たち以外にも市民の方にも傍聴しに来ていましたが、市民の方も思っているような質問もあると思うので、HPやLINE、広報を活用する人を増やし、見に来る方も増えたらなと思いました。

## 総務部 西木市民センター 主事 佐々木 <sup>ゆう</sup>優

今回議会傍聴研修を受け、市民から議員、議員から市へ、こうやって市が良くなっていくのだと初めて議場で議会を目の前で見て、大変良い経験になりました。市職員と議員のどちらも仙北市の未来を考えた上での、質問・提案・答弁で、白熱した場面もありましたが、すべて仙北市のためだと思うで聞いていて自分も改めて頑張ろうと身が引き締まりました。

また、その場で出た質問や要望に担当部長が素早くはっきりと答弁しているのを見て、市民目線で考えてみると、しっかり要望を検討してくれそうだなと感じました。

今回の議会を傍聴し、改めて改善点が仙北市にはあると思ったので、これから市の職員として少しでも仙北市の発展に貢献したいと思います。

## 総務部 税務課 主事 池田 <sup>ふうか</sup>楓華

今回の研修で初めて議会を傍聴した。議員の方々が事前に調査などを行い、発言通告要旨に基づいた質問をすることで、議会がスムーズに進行されていた。また、発言通告要旨を事前に提出することで、担当課においては詳細を調査し、議員の方々が納得できる回答をすることにつながっていた。

これまで議会について知らないことが多くあったが、議員の方々が市民の声を聞き取り、市長に直接伝えることができるため、市民が暮らしやすい社会になるような改善を迅速に行うことにつながると感じた。議会の録画があるので、今回傍聴していない他の一般質問も視聴して見たいと思う。

### お知らせ

## 市議会 おでかけ

新型コロナが5類に引き下げられてから3ヶ月が経ちますが、まだまだ感染は身近で発生しております。特に室内での人込みでは、感染予防を継続することが必要ではないでしょうか。マスクもまだ手放さないください。「おでかけ市議会」では、感染対策にご協力をお願いいたします。

- (1)対象…市内在住又は在勤の方々に構成する10人以上のグループとさせていただきます。
- (2)開催場所…ご希望の場所で開催いたします。
- (3)テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます(例:やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- (4)参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します。

●お申込み先…仙北市議会事務局 TEL0187-43-0334



総務部 総務課 主事 黒澤 麻衣

今回の議会傍聴を通じて、改めて市政について討論を行う場が重要だと感じた。

インターネット上で議会中継を視聴したことはあったが、議場での傍聴は今回が初めてだった。実際の議場は、映像では感じ取れない緊張感と、この場所で市政が動いていることを肌で実感した。また、一般質問一つひとつが私たちの生活に密着しており、観光・商工・少子高齢化対策などとても興味深い内容だった。

ぜひ、少しでも市政に興味がある方には議場に直接足を運んでもらいたい。市長や市議会議員の方々の熱意を直接議場で感じてほしい。そのためには、気軽に傍聴できる機会を作ることも必要だと感じた。

私も一人の市職員として貢献できるよう日々の仕事に取り組んでいきたいと感じた。

市民福祉部 社会福祉課 主事 能美 太一

一般質問の中で一番興味深かった内容が、玉川温泉水を活用した水素生成についてである。仙北市職員になる前から興味を持っていて、ウクライナ問題の影響でアルミニウム不足であると知って残念だった。将来、水素エネルギーは主要なエネルギーになっていくと思うので、仙北市の一つの大きな産業として、水素エネルギーの実用化に期待したい。

初めての議会傍聴で、まずは議会の雰囲気を知ることができたのが、大きな経験であった。今回の議会傍聴で現状の仙北市の課題について知ることができた。今後、仙北市職員としての自覚を持ち、仙北市の課題についてどのように取り組むかを考えていき、幸福度No.1を目指して業務に努めていきたい。

市民福祉部 長寿支援課 主事 中邑 愛

議会は紙ベースだと思っていたが、タブレットで資料を読んでいて驚いた。コロナが落ち着き始めたので、議会や仙北市政に興味を持ってもらうためにも一般も傍聴者の方にもっと気軽にきていただきたいと感じた。

一般質問の答弁を聞いて、当市は財政難だという印象をもっているがそれを工夫してどうにか資金を捻出したりコスト削減をしたりと私たちも深く考える機会となった。また、市役所の仕事は多岐にわたりまだまだ知らない分野があるため勉強不足だと思う。議会を通して様々な事業について質問や意見を出し合い深堀していくことで、現状や進展など方向性が見えることを実感した。そして田口市長の、まちを必死に変えていきたいという熱意にも触れることができ、私もより市民の声に耳を傾け市民のためにどう行動すべきなのか広い視野と使命感を常に持ちたい。

市民との意見交換会開催 7月5日(水) 18時～ (田沢湖・西木・角館の3箇所)

令和5年度1回目の市民の方々との意見交換会を田沢湖地区、西木地区、角館地区の3箇所で開催いたしました。6月30日に第3回定例会が閉会して間もなくの開催となり、各常任委員会では市民の皆さまへの議会報告などあわせて準備しておりました。



市民との意見交換会は、仙北市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会であるために、市政の諸課題についての説明責任を果たすとともに、市民との意見交換を行うことで議会の運営改善と政策立案に生かすことを目的としております。

今回の皆さまからいただいたご意見、ご要望につきましては、市当局からの回答をいただき次第、できる限り早めに皆さまにフィードバックさせていただきますので、今しばらくお待ち願います。

次回から、もっとたくさんの市民の皆さまに参加していただける企画を検討いたします。

田沢湖会場〔総合開発センター〕	西木会場〔西木開発センター〕	角館会場〔角館庁舎〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務文教常任委員会メンバー</li> <li>・班長：門脇 晃幸</li> <li>・市民の参加 2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業建設常任委員会メンバー</li> <li>・班長：武藤 義彦</li> <li>・市民の参加 5名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民福祉常任委員会メンバー</li> <li>・班長：高橋 輝彦</li> <li>・市民の参加 17名</li> </ul>

# いきいき広場

ボランティア団体  
集いの場「かだれ」

今回は、田沢湖地区で活躍されているボランティア団体「集いの場「かだれ」」をご紹介します。【代表・小松 龍子さん TEL 09001297513450】

**Q. 集いの場「かだれ」について教えてください。**

2017年8月に会員6名で立ち上げました。目的は認知症の予防や健康のため、相談を受けられる場を作りたいとの思いはありますが、誰でも気軽に足を運べる場所を作りたいからです。「かだれ」では何も強制しません。お茶を飲みながら、好きなことをしてもらい、話をしたかったら会員がお話を聞きます。もちろん、何もしたくなければ、何もしないのもOKです。

毎月第2、第4水曜日の10時～15時まで田沢湖健康増進センターを会場に、お一人様100円（お茶代等）をお預かりして開催しており、予約なしでも大丈夫です。会場までお越しになるためお手伝いが必要な方は、お気軽にお問い合わせください。



たくさんの方々の協力により  
2ヶ月かけて完成した花壇

**Q. 生保内武蔵野の通称カエル公園に花壇を作りましたが、経緯等を教えてください。**

「かだれ」でも会場として使えたらと思っていますが、最近は散歩をされる方も多いので、市民の憩いの場としてお使いいただければと思います。準備中ですが、素敵なベンチを寄贈いただいたので、ゆっくりお話ができる場になればいいなと思っています。



設置準備中の寄贈いただいたベンチ

**Q. 仙北市について考えていることがあれば教えてください。**

今回の花壇作りにはたくさんの方々からご協力をいただきました。費用面が厳しく、補助金等を探しましたが、使い勝手が悪く感じました。財政が厳しいとは思いますが、市民が積極的に関わられる事業への使いやすい補助金を検討して欲しいと思います。

また、たくさんさんのボランティア団体等があります。例えば「市が花の苗木を準備するので、市内に植えてください。」というような動きがあれば、協力してくれる方がたくさんいるのではないかと思います。

（小田島 広仁記）

## 全国市議会議長会表彰

6月定例会  
で全国市議会議長会から4名の議員が永年勤続表彰を受賞されました。（※写真右から）



正・副議長在職5年表彰

黒沢 龍己 議長

在職20年表彰

小林 幸悦 議員

在職20年表彰

真崎 寿浩 議員

在職25年表彰

高久 昭二 議員

## 人事案件（敬称略）

◎田沢財産区管理委員

【新任】  
羽根川 富幸（65歳）

田沢湖田沢字高市平26・2

## 編集後記

6月議会を終えて、今回も様々な議案が審議されました。その内容をわかりやすく、伝わりやすくまとめたいのが市議会だよりでございます。市民の皆様から「市政の動きがよくわからない市民への情報共有が十分なされていない。」との言葉を頂戴することも多々ございます。

私も、SNS等を活用し少しでも情報の拡散を図っておりますが、世間周知の毎日です。それでも、あらゆる方法を用いて責任を果たしていくことが付託を受けた身として当然の責務だと考えておりますので、今後も精進してまいります。そして何かを要求する際は、どこから予算を捻出するのか？等の具体的な提案をもって今後とも議会に臨んでまいります。

（澤田 雅亮記）

## 久々の行政視察を実施する

7月18日、議員7名で山形県遊佐町を訪問し、「これからのまちづくりをしていくのは若者である」との考えで2003年から行っている少年議会について学んだ。町長1名、議員10名立候補で選ばれる、対象者は遊佐町内の中高生及び遊佐町に通学する生徒であり独自予算で45万円を年間20日以上活動であった。